

都市再生整備計画(第5回変更)

あつべつふくとしんちく
厚別副都心地区

ほっかいどうさっぽろし
北海道札幌市

平成23年 3月

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	北海道	市町村名	さっぽろし 札幌市	地区名	あつべつ ふくとしん ちく 厚別副都心地区	面積	72.4 ha
計画期間	平成 19 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 19 年度 ~ 平成 22 年度				

目標	<p>大目標: 誰にでも分かりやすく、使いやすい賑わいのあるまちづくり</p> <p>目標①: 交通結節点のバリアフリー化</p> <p>目標②: 交通結節点のアメニティの向上</p>
----	---

目標設定の根拠	<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <p>・厚別副都心地区は、昭和46年に札幌市長期総合計画で「副都心」と位置づけ、「厚別副都心開発基本計画」の策定後、副都心開発公社を設立し市と公社の役割分担を基に開発を進め、公共施設、商業・業務施設整備や公共交通のJR新札幌駅がS48年、地下鉄新さっぽろ駅がS57年、バスターミナルビルがH2年に開業され、重要な交通結節点機能を有する、札幌の副都心として計画的に整備が進められてきていますが、計画策定から30年が経過し、社会経済や市民ニーズの変化により様々な問題点・課題が顕著化してきている。</p> <p>・地域の市民を交えて問題点・課題(①乗経路が迷路的で分かりにくい ②バリアフリー対応が遅れている ③駐輪場等の乗継施設の不足 ④街の顔、中心となる「たまり空間」がない)を整理し、その解決策のために整備内容を検討している。</p> <p>・平成15年に「札幌市交通バリアフリー基本構想」を策定し、その中で厚別副都心地区は重点整備地区に指定され、特定経路、特定施設のバリアフリー化を進めることとしている。</p> <p>・課題でもあり、整備目標年次が決まっているバリアフリー関連施設の整備について、今回、整備計画(案)を策定し実施するものである。</p>
---------	--

課題	<p>誰にでもやさしく、使いやすい公共交通機関相互の乗継動線のバリアフリー化</p> <p>・公共交通機関(地下鉄、バスターミナル、JR)を連絡する乗継動線のバリアフリー化</p> <p>・バスターミナル施設の改善</p>
----	--

将来ビジョン(中長期)	<p>・厚別副都心開発基本計画 人を主体とした都市空間の創出を目指し、交通ネットワークの整備、都心ビジネス機能の強化、公共的空間の創出など市民生活の充実と向上を図る。</p> <p>・厚別副都心地区土地利用転換計画 都市機能や都市空間要素の充足などによって、厚別副都心が本来持っている優位性を引き出し、魅力あるまちとして再構築することにより、今後求められる次代の都市生活水準に合致した、うるおいのある空間の再構築を図る。</p> <p>・札幌市交通バリアフリー基本構想 札幌市交通バリアフリー基本構想を策定し重点整備地区の特定経路、特定施設のバリアフリー化を進める。</p>
-------------	---

目標を定量化する指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指 標</th> <th rowspan="2">単 位</th> <th rowspan="2">定 義</th> <th rowspan="2">目標と指標及び目標値の関連性</th> <th>従前値</th> <th>基準年度</th> <th>目標値</th> <th>目標年度</th> </tr> <tr> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>乗継アクセス時間</td> <td>分</td> <td>車椅子による乗り換え時間(地下鉄～バスターミナル北レーン)</td> <td>誰にも分かりやすい乗継動線を確保する</td> <td>25</td> <td>平成19年度</td> <td>10</td> <td>平成22年度</td> </tr> <tr> <td>乗継動線のバリアフリー化率</td> <td>%</td> <td>公共交通機関相互のバリアフリー動線の確保</td> <td>誰にも使いやすい公共施設</td> <td>30</td> <td>平成19年度</td> <td>100</td> <td>平成22年度</td> </tr> <tr> <td>施設利用満足度</td> <td>%</td> <td>バスターミナル・2階通路利用者の意見</td> <td>誰にも使いやすい公共施設</td> <td>30</td> <td>平成15年度</td> <td>60</td> <td>平成22年度</td> </tr> <tr> <td>施設利用者数</td> <td>人/年</td> <td>多目的広場の整備による利用者増加数</td> <td>まちの賑わいを高める施設</td> <td>0</td> <td>平成17年度</td> <td>10,000</td> <td>平成22年度</td> </tr> </tbody> </table>	指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度					乗継アクセス時間	分	車椅子による乗り換え時間(地下鉄～バスターミナル北レーン)	誰にも分かりやすい乗継動線を確保する	25	平成19年度	10	平成22年度	乗継動線のバリアフリー化率	%	公共交通機関相互のバリアフリー動線の確保	誰にも使いやすい公共施設	30	平成19年度	100	平成22年度	施設利用満足度	%	バスターミナル・2階通路利用者の意見	誰にも使いやすい公共施設	30	平成15年度	60	平成22年度	施設利用者数	人/年	多目的広場の整備による利用者増加数	まちの賑わいを高める施設	0	平成17年度	10,000	平成22年度
指 標	単 位					定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度																																		
乗継アクセス時間	分	車椅子による乗り換え時間(地下鉄～バスターミナル北レーン)	誰にも分かりやすい乗継動線を確保する	25	平成19年度	10	平成22年度																																						
乗継動線のバリアフリー化率	%	公共交通機関相互のバリアフリー動線の確保	誰にも使いやすい公共施設	30	平成19年度	100	平成22年度																																						
施設利用満足度	%	バスターミナル・2階通路利用者の意見	誰にも使いやすい公共施設	30	平成15年度	60	平成22年度																																						
施設利用者数	人/年	多目的広場の整備による利用者増加数	まちの賑わいを高める施設	0	平成17年度	10,000	平成22年度																																						

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(厚別副都心地区のバリアフリー化の推進)</p> <ul style="list-style-type: none"> エレベーター2基の新設、既存エレベーターのバリアフリー化等によって、公共交通機関相互の乗継動線のバリアフリー化を行い、誰にでも気軽に利用できる交通結節点とする。 厚別副都心地区を札幌市交通バリアフリー基本構想で重点整備地区に指定し、特定経路のバリアフリー化の推進を図る。 	<p>方針に合致する主要な事業</p> <p>【基幹事業】地域生活基盤施設(情報板:乗継動線のサイン改修)</p> <p>【基幹事業】高質空間形成施設(歩行支援施設:エレベーター2基新設、空中連絡通路新設、2階公共通路バリアフリー化、バスターミナル改善、ドアのバリアフリー化)</p> <p>【提案事業】地域創造支援事業(エレベーターのバリアフリー化)</p> <p>【関連事業】交通安全施設整備事業</p>
<p>整備方針2(交通結節点のアメニティの向上)</p> <ul style="list-style-type: none"> バスターミナルの機能向上(待合室の防寒対策等)と、JR駅舎を横断する2階公共通路の利便性を向上し、誰もがより安全で快適に利用できる交通結節点とする。 清掃工場跡地を、イベントなど多様な都市活動に利用できる多目的広場及び「環境や街づくり」の意識向上を目指した市民参加型リサイクル拠点として整備する。 公園とそれを囲む公共施設・道路の一体的利用を図るとともに、親水ゾーンの整備を行い、賑わいあるまちの創出を市民参加の手法により目指す。 	<p>【基幹事業】地域生活基盤施設(情報板:乗継動線のサイン改修、多目的広場整備)</p> <p>【基幹事業】高質空間形成施設(歩行支援施設:エレベーター2基新設、空中連絡通路新設、2階公共通路バリアフリー化、バスターミナル改善、ドアのバリアフリー化、親水施設整備)</p> <p>【提案事業】事業活用調査(アンケート調査、情報板検討)</p> <p>【提案事業】まちづくり活動推進事業(広場空間の検討)</p> <p>【提案事業】地域創造支援事業(厚別リサイクルプラザ)</p>
<p>整備方針3</p>	
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続的なまちづくり活動 当地域を含む厚別区では、地域の情報交流・意見交換、地域課題の検討、解決策の提言・実施サポート等を検討し進めるために、分野別活動団体(女性部、体育振興、青少年育成、PTA、高齢者等)、学校、地元商店街、企業、学識経験者、まちづくり専門家、各行政機関等の委員で構成された「厚別区まちづくり協議会」が発足し、平成16年度から住み良いまちにするための取り組みについて、共に考え、共に行動し、創意と工夫により良いまちに作り上げていくことを目的に活動している。 計画の管理 交付期間中は、「厚別区まちづくり協議会」と連携し、事業の進捗や進め方等について情報交流や意見交換を行う。 	

厚別副都心地区(北海道札幌市)整備方針概要図

目標	誰にでも分かりやすく、使いやすい賑わいのあるまちづくり	代表的な指標	乗継アクセス時間(分)	25 (19年度) → 10 (22年度)
			乗継動線のバリアフリー化率(%)	30 (19年度) → 100 (22年度)
			施設利用満足度(%)	30 (15年度) → 60 (22年度)

